

わっさむ担い隊が発足しました

今年8月から最長で3年間にわたり地域の活性化に向けた活動を行う「わっさむ担い隊」について、町のホームページ等により募集した結果、全国から6名の応募をいただきました。

採用に係る審査については、応募の際に提出いただいた履歴書とレポートをもとに行い、この事業に対する熱意や事業終了後の移住に対する考え方を中心に選考を行い、2名のかたを採用者として決定しました。

8月13日(金)に町民センターで行われた担い隊の委嘱式では、2名の担い隊員は緊張した面持ちで伊藤町長から委嘱状を受け取り、一人ひとりから今後の抱負を語ってもらいました。

また、担い隊の委嘱に合わせ、町民から募集していた集落支援員を丹羽 茂さん(字北町)に委嘱し、担い隊の活動をサポートしてもらいます。

わっさむ担い隊制度の詳細については、広報誌8月号に掲載していますので、ご参照ください。

2名の担い隊の紹介



桐生 一樹 (29歳)

東京の八王子市からこの度、わっさむ担い隊として来ることになりました、桐生一樹といいます。

前職は、大学病院で医療事務等の仕事をしていました。

退職してから次第に農業や地域おこしに興味をもつようになり、地域おこし協力隊というものがあると知り、わっさむ担い隊の応募を見つけました。

雪国であることと、他の地域おこし協力隊と比べ、より地域住民の手助けができるということでわっさむ担い隊への応募を決めました。

初めての北海道でわからないことばかりですが、よろしく願いいたします。



中野 利樹 (28歳)

東京都文京区から来ました中野利樹と申します。

出身は、北見市で高校卒業後に北海道を離れ、大学で情報工学を学んだ後、東京で3年半ほどIT関連企業でソフトウェア開発の仕事をしていました。

町民のみなさんとの交流を通してたくさんのことを学び、これまでの経験や技能を生かして町の活性化につながるような活動ができるよう努力していきたいと思います。

今後いろいろとご迷惑をおかけするかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

集落支援員



丹羽 茂 さん
字北町



わっさむ担い隊・集落支援員委嘱式